



よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

2011, 7, 24 NO. 196

編集・発行

よしかい育子
465-7071
小川ゆうじ
466-8887
なんでも相談所
465-9939

なんでも相談の開設は
月・水・金の
午前10時～正午
無料・弁護士相談
8月12日(金)
午後18時～20時
予約が必要です

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

小川・吉開

検索

「日本共産党田尻町会議員団 小川・吉開です」

無料青空市・仮設住宅などで、被災者の方からじっくり ご要望をお聞きするボランティアをしました

7月10日(日) ～ 12日(火)

陸前高田市などでの 3日間のボランティア報告

共産党のボランティア活動は、市民団体のみなさんとごいっしょに組織する共同支援センターを中心に、避難所や仮設住宅に入られている方だけでなく、津波がきていない山間部のお家も訪問し、被災状況やご要望をお聞きし、共同支援センターに伝えることが主な仕事です。

1日目

共同支援センター

10日の朝、食器類のコーナーでお手伝いしようとしていた10時過ぎ、震度4の地震が発生。その後、津波警報のサイレンが鳴り響きパトロール車が巡回するなど、私は少し緊張しました。約2時間後に警報が解除され、被災者の方が次々と物資を求めて訪れました。「仮設にはいったが、食器一つ無い。仮設は狭いので小さい食器がほしい。ここで無料でもらえて助かる。」と喜ばれていました。

無料青空市でお手伝い

私は、被災者の方たちのご要望を伝えるとともに、涙を浮かばせながらも聞かせて頂いたことを田尻町の防災にも生かしたいと思いました。

来た皆さんと話す中で被災者の方たちは、要望や近況を話してくれて助かっています。市民の生の声、要望を集めてよりよい暮らし、安心して住める陸前高田に復興したい。」と話されました。



2日目

市内の仮設住宅を訪問

九死に一生を得たという女性のお話

散歩中、立ってられないほどの強い揺れで家に帰ったが、ドアが壊れて中に入らず、着の身着のまま逃げた。避難所に行ったが平地で、津波がくるので山の藪の中を必死に登って九死に一生を得た。家の3階に登るといって一緒に逃げなかった友人は亡くなりました。夏服が足りずに困っている。



3日目

山間部にある住田町を訪問

津波に夫も流された女性のお話

中学生の子ども二人と実家に避難しています。子どもを内陸部の中学校へ毎日送り迎えしているが、がれきを見ると苦しくなるのでスクールバスを運行してほしい。流された家の土地はどうなるのか不安。

職場が流された女性のお話

働いていた縫製工場が機械ごと根こそぎ流され、失業した。社長から連絡はなく、再建は難しそう。収入が減り不安。失業保険の期間を長くしてほしい。

被災地は、夏物衣料 とくに男性用が不足しています

まとめて送付しますのでお持ち下さい

7月24日(日)朝 10時30分～正午

嘉祥寺集会所で受付します

お気軽にご参加を！

共産党議員団主催「語り合うつどい」

7月24日(日)朝 10時30分～正午

場所：嘉祥寺集会所

06月議会報告

○陸前高田市で
7月10日～12日の
ボランティア報告